

登録有形文化財としての登録

銀座線・丸ノ内線の建築物・土木構造物が 登録有形文化財として登録されました！

東京都の土木構造物として初めての登録有形文化財となります

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区 代表取締役社長:山村 明義、以下「東京メトロ」)が所有する建築物・土木構造物のうち、銀座線浅草駅4番出入口上家、丸ノ内線御茶ノ水駅出入口上家、御茶ノ水橋りょう及び四ツ谷こ線橋が2023年11月24日(金)付けで文化庁から登録有形文化財に登録されました。

当該施設はいずれも建設から50年以上が経過しており、かつ建設当時の意匠を保っていることが評価されております。また、丸ノ内線の御茶ノ水橋りょう及び四ツ谷こ線橋は、東京都に所在する土木構造物として、初の登録有形文化財となります。

今後も東京メトロでは、各施設の適切な維持管理を通じて文化財建造物を守り、地域の発展に貢献して参ります。



銀座線 浅草駅4番出入口上家



丸ノ内線 御茶ノ水駅出入口上家



丸ノ内線 御茶ノ水橋りょう



丸ノ内線 四ツ谷こ線橋

登録有形文化財に登録された建築物・土木構造物について

登録された建築物・土木構造物の概要

施設名	概要	築造時の様子
銀座線 浅草駅4番 出入口上家	浅草駅出入口4番の上家は、1931年(昭和6年)頃に竣工しました。切り妻で寺院建築をモチーフとした鉄筋コンクリート造の上家です。	 <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：地下鉄博物館</p>
丸ノ内線 御茶ノ水駅 出入口上家	御茶ノ水駅出入口2番の上家は、1953年(昭和28年)に竣工しました。地上階のほぼ全面に水平連続窓を配置したモダニズム建築の鉄筋コンクリート造の上家です。	 <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：地下鉄博物館</p>
丸ノ内線 御茶ノ水 橋りょう	御茶ノ水橋りょうは、1955年(昭和30年)に竣工しました。同橋りょうの橋長は36m、構造形式は鋼製1連桁橋であり、神田川上に架設されています。	 <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：地下鉄博物館</p>
丸ノ内線 四ツ谷 こ線橋	四ツ谷こ線橋は、1959年(昭和34年)に竣工しました。同橋りょうの橋長は110m、構造形式は鋼製4連桁橋であり、JR中央線上に架設されています。	 <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：新宿歴史博物館</p>